

まず、今年の元日に発生した能登半島地震についてお話をします。

とても大きな被害が発生したことは、皆さんも御承知のとおりであります。悲しいニュースが多い中で、実は、少し気になるニュースがありました。

地震発生の直後から、テレビではアナウンサーが「津波から逃げて」と、かなり強い口調で、何度も避難を促していました。私は、それは当然のことだと受け止めていましたが、若い方からは批判的な意見もあったようであります。

「怖い」とか「うるさい」とか、私はなぜそのようなことを言うのだろうと不思議に思いました。しかし、よく考えてみると、今の中学生や高校生は、東日本大震災のときの津波の恐ろしさを知らないのであります。ですから、強い口調に対して違和感を覚えたのだろうと思えます。

次に、医薬分業についてお話をしたいと思えます。

病院に行つて薬を出してもらおうとき、今は病院の外の薬局で薬をもらうことになっていきます。いわゆる「かかりつけ薬局」という考え方から始まったものでありますが、私はいろいろな問題がある制度だと感じています。

中でも、プライベートの点で気になることが多いのであります。病院では、診察室でのやり取りが外に漏れない工夫も進んできているように思えます。ところが、薬局で薬をもらうときはどうでしょうか。

薬の説明をしてくれるとき、隣に別の患者さんが座っていることがよくあります。丁寧に説明してくれるけれど、自分の病気に関する情報がどんどん外部に漏れていく恐怖を感じてしまいます。皆さんはどうお考えでしょうか。

(丁)

6 級

最初に、南極についてのお話をします。

南極には、たくさんの方が観測隊を送っています。日本も、毎年のように送り続けています。日本の観測隊は、二つのパーティーに分かれています。一つは、三月まで滞在するものでありまして、これは夏隊と言われています。

その隊長を、女性が務めることになりました。これは、日本では初めてのことでそうでありません。

もう一つは、越冬隊であります。こちらは、南極の厳しい冬を過ごしながら、気象などの観測を続けていくこととなります。

次のお話は、野菜のブロッコリーについてであります。

再来年からブロッコリーが指定野菜になることが決まりました。これは、人々の間でたくさん食べられるようになったことで、生活に欠かせないと判断されたからであります。

指定野菜になりますと、国が中心となって、出荷の安定を図ることができるようになります。たとえ価格が大きく下がったとしても、補給金が支えてくれます。このため、農家も安心してブロッコリーを生産することができるようになります。(丁)